

## 担任の先生が教え子を激励

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 荒木 3陸佐）は、7月30日（水）、海上自衛隊横須賀教育隊で実施された「地域交流行事」（短艇競技の公開）に、川崎商業高校教諭を招待した。

川崎商業高校は、全校生徒の約7割が女子生徒で、就職を希望する生徒のほとんどが地元（川崎市や横浜市の企業に就職している。これまでも自衛隊とのつながりが比較的希薄な高校であったが、昨年、唯一自衛隊に入隊した生徒（北村2士）の激励に担任の伊良原先生がかけつけた。

先生は、「昨年度、受け持ったクラスは最高でした。その中で彼（北村2士）はムードメーカー的な存在、彼でなければ今回参加を希望しなかったかもしれない」と胸の内を明かした。研修時間の都合上、カッターを漕ぐ勇姿を見ることは出来なかったが、同期を応援している姿を見て「応援団のリーダーだった頃を思い出しました。あの頃は、かわいいという感じだったのに」と小麦色に日焼けした精悍な顔つきに目を細めていた。

別れ際にはしっかりと握手を交わし「自衛隊でしっかり頑張れ」とエールを送ると、「はい、頑張ります」と笑顔で応える教え子に安心した様子であった。

川崎出張所は、「今後もあらゆる機会を通じて、入隊した生徒の成長を学校に伝え、安心して生徒を任せてもらえるよう、信頼関係の醸成に努めて行く」としている。



北村2士と伊良原先生

## あつぎ鮎まつりで募集広報

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、8月2日（土）及び3日（日）、厚木中央公園で行われた「第60回あつぎ鮎まつり」に、隊友会県央支部、厚木愛甲父兄会の協力のもとブースを開設し、募集広報を実施した。

気温が30度を超える猛暑の中、ブースを訪れた多くの来場者に対し、リーフレットの配布及び子供迷彩服の試着を行った。

「僕はね、将来自衛官になるからね。おじさんも頑張ってる」という男の子の一言で暑さも忘れ、やりがいも感じることができた。

厚木募集案内所は、「今後も、このようなイベントに参加して募集広報を行うとともに、防衛基盤の育成に努めていく」としている。



ブースの様子



## 地元の夏祭りで広報活動

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、8月2日（土）、大井ひょうたん祭り、8月3日（日）、小田原みなと祭りに参加し、広報活動を実施した。

この夏祭りには、例年参加しており、今年も募集相談員や自衛隊協力会の協力を得て、パネル展示、チビッコ迷彩服試着等により、自衛隊をPRするとともに適齢者情報を獲得した。

小田原地域事務所は、「今後も、担当する2市8町のイベントに参加して自衛隊をPRし、チビッコファンの獲得等、将来を見据えた募集活動を推進していきたい」としている。



大井ひょうたん祭り



小田原みなと祭り